

**第5回第三期高知市中心市街地活性化基本計画策定検討委員会
議事概要**

日時 令和4年11月8日(火)10時00分～12時00分

場所 高知市役所本庁舎6階611会議室

出席者【委員】古谷純代(委員長)、安藤浩二(副委員長)、黒瀬裕之、北村和代、中田陽子、
金津智明、亀川代平、藤原哲、笹岡和泉、石筒覚、梶原太一

【オブザーバー】福留正充(代理出席)、山本聡、岡林成海

次第 1 開会
2 議事
3 その他
開会

1 開会

2 議事

○第三期高知市中心市街地活性化基本計画素案について

事務局より概要にて説明。以下委員からの意見交換

※次の文言については省略して記載します。

第三期高知市中心市街地活性化基本計画→中活計画

(委員)

中活計画素案 P61 の目標指標に関連して、経済センサスにより事務者数、従業者数は中心市街地の範囲で計測できるのか。

(事務局)

令和3年度に実施された経済センサス活動調査の集計表は現時点で全て公表されていないため、市単位でしか数値を出すことができない。平成28年度の経済センサス活動調査による中心市街地の事業者数、従業者数は確認することができるため、調べて回答する。

(委員)

中活計画素案の P1 の位置図について、現在は高知インターと東部自動車と繋がっているため、それを反映する必要がある。

(委員)

中活計画素案の P68 の参考指標3、中心市街地の新規出店数に関連して、「出店」の定義について教えてほしい。

(事務局)

高知市において、商店街等の空き店舗を活用し新規出店される方を対象に、店舗賃借料の一部を補助する「高知市空き店舗活用創業支援事業」を実施している。補助対象期間が3か月間から6か月間となり、期間終了後に補助金を交付するため、例えば1週間出店して閉めるといったような方々には補助対象としていない。したがって、最低でも3か月以上運営している店舗について「出店」の対象としている。

(委員)

事業を5年間実施するため、5年後には閉まっていたということはあるが、ここでは、最低3か月出店したものを補助したということになる。3か月と明確に定義していることを示した方がよい。

(委員)

中心市街地に出かける方や観光客も増え、バリアフリー観光の窓口に相談が増えている。新たに整備

されたマンションの居住者について、障害の重い方や、高齢になって郊外や山間部から中心部のマンションに住み替えるというケースがみられる。車も乗れなくなり、中心商店街での買い物なら公共交通が利用しやすい点や、病院や介護等の緊急対応といったサポートも近いという点で、中心市街地への移住が多くなってくると思われる。計画素案には基本方針のもと、新たに子育てに関連する事業も掲載されているので、今後は障害のある方、ご高齢の方、子育て世代をサポートするような事業を更に増やして行っていただきたい。

中心市街地において、トイレが使いにくいということやおむつ替え、託児の場所などの問い合わせを受けることが多いが、近くに案内しやすい場所が少ないこともあるため、そうした情報が集約されると、住むことや訪れることに安心が生まれる。街に訪れる人が、自身が高齢になり、障害を持っても利用し続けることができるということが中心市街地のPRポイントになると良い。

(委員)

中活計画素案に登載されているオーテピア西敷地利活用事業について、商店街の中でも様々な意見が出ている。計画素案の当該事業【活性化に資する理由】に記載されている「新たな中心市街地の魅力、滞在拠点などを創出し、来街者の増加、回遊性の向上を促進する」のとおり進めていただきたい。これまでの経緯を見てきて、地域住民に加え、地元商業者も委員となっている中心市街地活性化協議会の承認も得た第二期の「中心市街地活性化計画」に表している、地元商業者の意見が反映されてこなかったように感じる。市からの説明責任とともに、経済的観点からの意見も、市民に伝える工夫と努力が必要と感じている。

(事務局)

オーテピア西敷地の利活用については、公募型プロポーザル方式により事業者選定を進めており、11月14日の選定委員会で事業提案の審査を予定している。審査結果を踏まえて、高知市として意思決定するという流れであり、決定したら報告する。

(委員)

中心市街地活性化の指標をどのように設定していくか当初は不安であったが、中活計画素案ではシンプルにまとまっており、あとはこれをどのように実現させていくかが重要であると考えている。時系列でどう実現していくのかというところをきちんと設定し、担当部署で毎年レビューし、必要に応じて修正していくことが重要になると考える。

(委員長)

すぐく高い目標には設定されていないため、この目標数値であれば達成できるのではないかとというのが私たち委員の感じているところである。

(委員)

委員長の言うように、中活計画素案はいろんな意見を取り入れ、実現可能な項目にまとめられていると思う。また、逆に事業がてんこ盛りであるため、議会や報道機関への対応等も生じてくると思うが、協力するところは協力して進めていきたい。

(委員)

中活計画素案について着実に策定を進められ、しっかりとまとめられていると感じる。

また、「ぼっちなまち」はどんな街なのだろうといつも考える。人として生きていくうえで、この中心商店街はずっと大事にしていた場所であり存続して欲しいと思う。全体として人口減少の中、中心市街地はマンション建設により、人の流れも変わってきており、土日には帯屋町商店街も人が増えたと感じている。一方で、集客は増えてきているが、駐車場の問題がある。先日日曜日でも駐車することができなかった。「MY 遊バス」など公共交通もあるため、中活計画の中でもっと活かしていければと考える。

また、オーテピア西敷地の活用については意見が出たが、もっと市民一人ひとりが関心を持つべきであると考えている。

平成23年に策定された、「東西軸エリア活性化プラン」があった。賑わいの偏在化等、様々な問題を改善しながら進んでいるとは思いますが、長期間だけでなく短期間でも実証していただけると、着実に街が

変化してきていると実感できると思う。

(委員長)

「東西軸エリア活性化プラン」の推進により、活性化を図ったが、長期間継続するのは難しい部分もある。一方で、その時の課題は踏襲されて、ある一定の成果は出てきたのではないかと考える。

(委員)

中活計画素案概要版のP5の前計画の取組の評価について、目標が達成できていなかったとあったが、例えば歩行者通行量においては、令和元年で目標達成している。拠点施設の入館者数についても令和元年に達成直前にきていたが、コロナで急激に落ち込んでいるため、将来的にその原因を分かりやすいよう、記載しておくとうい。

また、中活計画はどこに配布するのか。策定した中活計画は、役所だけでなく、商店街や中心市街地にいる人にできるだけ多く目に触れるようなかたちに発信していただきたい。全文は難しいと思うが、概要版だけでも印刷してできるだけ多くの方に配布していただきたい。

(事務局)

中活計画については、パブリックコメントや内閣府の認定を得られた後、多くの方に見てもらえるよう、広報にも工夫をしていきたい。

(委員)

中心市街地、商店街における「高知市空き店舗活用創業支援事業」を活用した事業者はその後の定着率も良いと伺っており、効果があるので継続してほしい。一方で、あまり成果が出ていない事業もあると思う。マンションの整備事業などはどうしても必要な部分もあるのかと感じた。人が集まり、賑わいを創出するのにもっと振り切った事業の内容も入れてよいと考える。中活計画の推進により、劇的な変化が出るとは思えない。皆さん想像できると思うが、10年後は、人が確実に減っていくと考える。極端な話をすると、例えばカジノの設置もアイデアの1つであると考えている。ハードルは高いが、様々な生産性の高いアイデアを出し合うことが大切である。

(副委員長)

はりまや橋のすぐ傍で商売をし、45年住んでいる。今回の中活計画は中心市街地という狭いエリアであること、5年間であるということ、1～2期の高知市中心市街地活性化基本計画を引き継いでいることが前提にある。日本と高知の経済の問題が背景にある計画でもあると商売を通じて大きく感じている。この狭いエリアだけでなく周辺のエリアとの関係もある。人口を増やしてくれたマンションについては400年を超える高知市の街の景観へ与える影響もある。必ずしもこの計画だけを推進すればよいというものではない。色々な別の分野の計画とも連動していかないといけないと考える。

オーテピア西敷地利活用事業では、高知市のポテンシャルを明確に表していると感じた。最終的に全国チェーンのホテル1社しか提案が得られなかったのは悲しい。事業の推進に反対している人も署名はするが、募金活動やクラウドファンディング等の活動をすればよいがそれも寂しいと感じる。

自分がずっとこだわってきた高知市の観光政策も他力本願な記載となっているように感じられ、商店街含め、高知市も高知市民も全体で自分たちの痛みを伴うような内容に踏み込んでいくべきである。5年間の計画では難しい部分もあるため、高知市の施策の中で、5年ではなく、市民とともに長期的に取り組むところも必要であると改めて感じた。

3 その他

4 閉会

以上